

平成 28 年度 岡山県学力・学習状況調査 中学校 第 1 学年 社 会

全調査問題・正答及び、各問題の市・県の平均正答率とその差等を掲載。

※市・県の数値は％，差の数値はポイントとして表示。

※自校の平均正答率を，追記して御活用ください。

※市と県の平均正答率の差については，小数第 2 位以降の数値も反映されていることから，0.1 ポイントの差異が生じている場合がある。

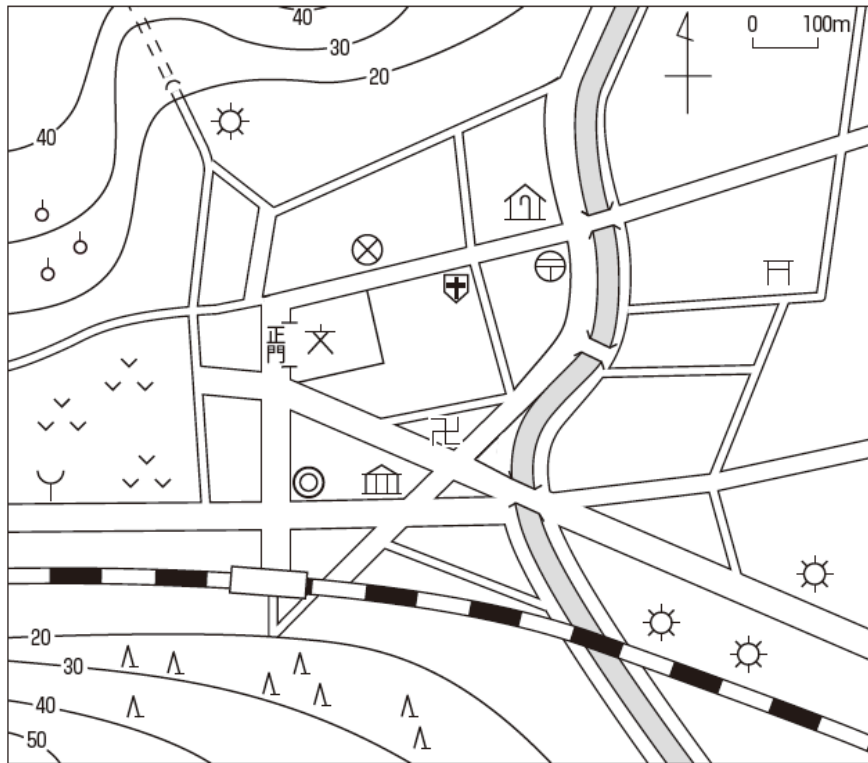
○本資料の掲載場所

学びの扉＞広場に行こう＞様式・事務手引きの広場＞

007－00115 指導課（岡山県学力・学習状況調査）

＞H28 岡山県学力・学習状況調査問題

次の地図は、かずみさんの学校の周りを表したものです。あとの問いに答えなさい。



(1) 次の①, ②の地図記号が何を表しているかを書きなさい。

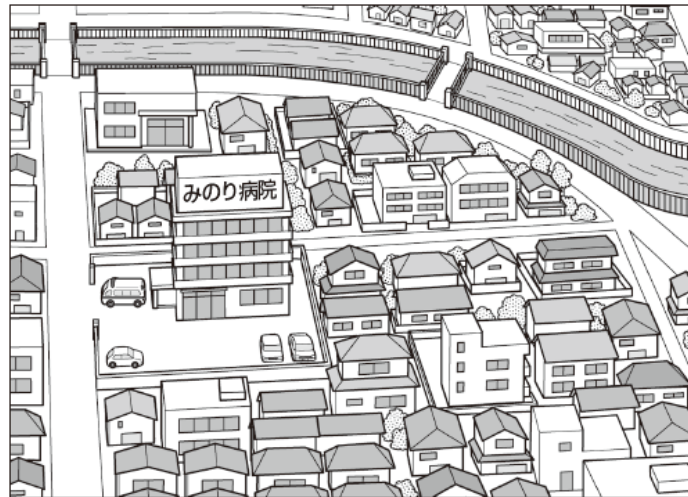
12

① (正答) 消防署
市 80.8
県 71.2
差 +9.5
自校()

② (正答) 果樹園
市 79.3
県 63.4
差 +15.8
自校()

- (2) 次の絵は、かずみさんが、学校の屋上に上がり、そこから見た周りの様子をかいたものです。この絵は、学校の屋上から見て東、西、南、北の、どの方位の様子をかいたものですか。その方位を書きなさい。

③



(2)(正答) 東

市 64.6

県 64.4

差 +0.3

自校()

- (3) 次のメモは、かずみさんが学校の周りに何があるのかを歩いて調べたときの記録です。このメモを読んで、かずみさんが歩いた道順を解答用紙の地図に線でかきなさい。

④

【かずみさんのメモ】

学校の正門を出て南へ向かって歩くと、正面に駅が見えました。
市役所のある交差点を左へ曲がって、東へ200m 歩いたところの交差点を北東へ進み、左にあるお寺のそばを通り、川沿いの道に出ました。
その後、郵便局のある交差点を左へ曲がって、警察署の前を歩いて学校に帰りました。

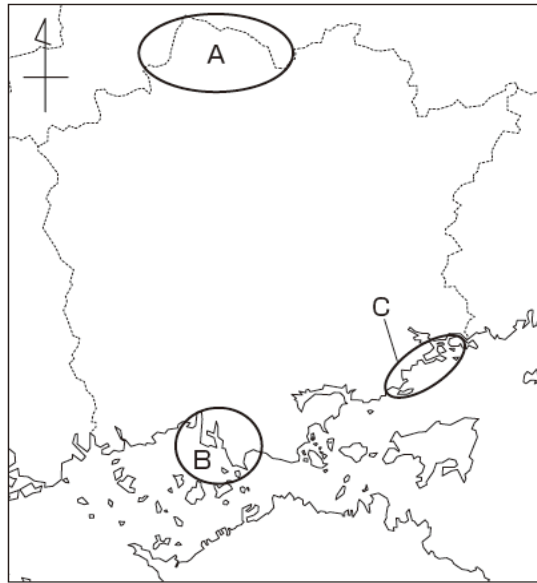
(3)(正答)



市 74.7 県 72.7 差 +2.0 自校()

2

まさみさんのクラスでは、^{おかやま}岡山県の地形や産業について学習しました。次の地図と会話文を見て、あとの問いに答えなさい。



まさみ「県の北の方に東西に広がっている山地は ア 山地だよ。」

じゅん「広い土地を生かして、牧場で牛を飼っているのを見たことがあるよ。」

まさみ「^{かがわ}香川県との間にある海は イ 海よね。」

ひろみ「県の西の沿岸部では、うめ立て地の港に大きなタンカーがとまっているのを見たよ。」

じゅん「県の東の沿岸部では、たくさんの養しよくいかだかうかんでいる様子を見たことがあるよ。」

まさみ「岡山県では、^{とくろう}地形の特徴を生かした産業が発達しているんだね。」

(1) 会話文中のア、イにあてはまる言葉を書きなさい

(1)(正答)<ア>中国(山地)

<イ> 瀬戸内(海) 【完答】

市 35.8 県 36.8 差 -1.0 自校()

(2) 会話文中の下線部ウについて、地図中のA、B、Cの地域に発達している産業の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | A…工業 | B…水産業 | C…らく農 |
| 2 | A…らく農 | B…工業 | C…水産業 |
| 3 | A…らく農 | B…水産業 | C…工業 |
| 4 | A…工業 | B…らく農 | C…水産業 |

(2)(正答) 2

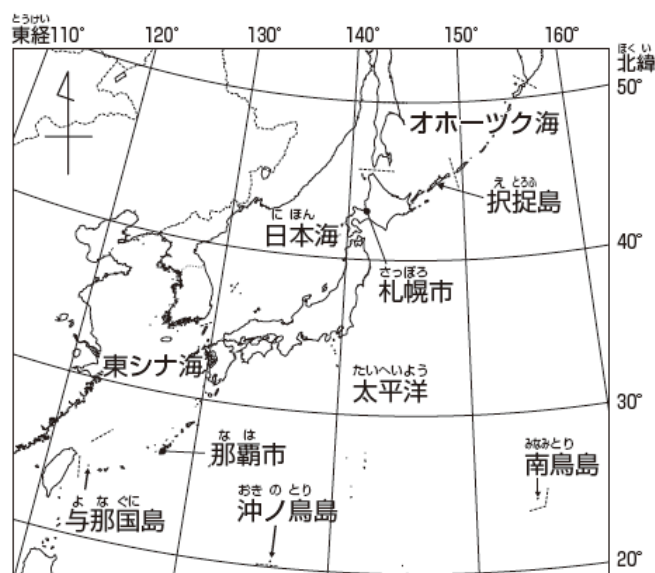
市 51.6 県 47.8

差 +3.9 自校()

3 日本の国土と人々の暮らしについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 次の【地図ア】からわかることを、あとの1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

【地図ア】



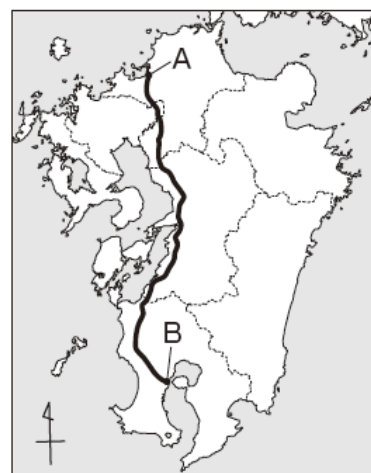
- 1 札幌市と那覇市は、緯度が30度以上ちがう。
- 2 日本の南のはしに位置しているのは、南鳥島である。
- 3 日本は北半球にあり、太平洋や日本海などに囲まれている。
- 4 日本の西のはしの島は、東経150度から東経160度の間に位置する。

(1) (正答) 3
市 68.8 県 68.5
差 +0.3 自校()

- (2) 右の【地図イ】中のAとBを結ぶ線は、2011年に完成した新幹線の路線を表しています。この路線が通っている県名の組み合わせとして正しいものを、次の1から5までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 福岡県・宮崎県・大分県・鹿児島県
- 2 福岡県・熊本県・宮崎県・鹿児島県
- 3 福岡県・大分県・長崎県・鹿児島県
- 4 福岡県・長崎県・佐賀県・鹿児島県
- 5 福岡県・佐賀県・熊本県・鹿児島県

【地図イ】



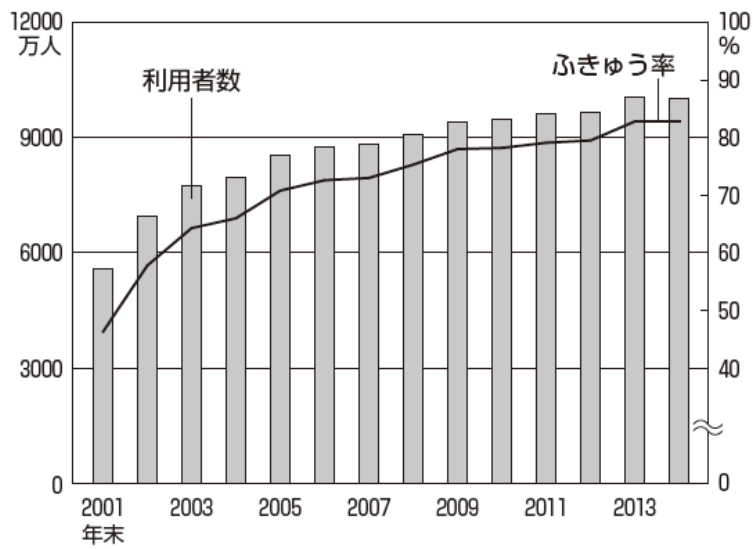
(2) (正答) 5
市 68.2 県 65.7
差 +2.5 自校()

4

たろうさんは、暮らしを支える情報について学習しました。次の問いに答えなさい。

- (1) たろうさんは、次の資料を見て、インターネットが急速にふきゅうしていることに気づきました。

【インターネット利用者数とふきゅう率】



※ふきゅう率とは、日本の人口に対するインターネット利用者数の割合。

(総務省資料)

たろうさんは、インターネットが急速にふきゅうしたのは、テレビやラジオ、新聞などにはない特性と関係していると考え、インターネット、テレビ、ラジオ、新聞のそれぞれの特性を、次の1から4のようにまとめました。インターネットの特性として最も適切なものを1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 世界中の大量の情報から知りたい情報を、いつでもすぐに調べることができる。
- 2 主に文字や写真で情報を伝えていて、何度も読み返したり、持ち運んだりできる。
- 3 主に映像と音声で情報を伝えていて、新しい情報を早く知ることができる。
- 4 音声だけで情報を伝えていて、家事などの作業をしながら聞くことができる。

(1) (正答) 1

市 82.3 県 83.6

差 -1.3 自校()

- (2) たろうさんは、インターネットには、便利さだけではなく、さまざまな問題があることも学習しました。たろうさんの班では、インターネットなどで情報をあつかうときに注意することについて、次のようにまとめました。

情報をあつかうときの注意！！（6班）

情報をじょうずに活用するためには、ルールやマナーを守ることが必要です。次のことに気をつけましょう。

<情報を送る側>

- ・他の人が写した写真やかいた絵などを勝手にコピーして使わない。
- ・
- ・ 情報を受け取った人がどう感じるか、受け手の立場に立って内容をもう一度確かめる。

<情報を受け取る側>

- ・ 自分に必要な情報をきちんと選ぶようにする。
- ・
- ・ 1つの情報だけでなく、いくつかの情報を比べて考えるようにする。

A、Bのそれぞれにあてはまる内容として最も適切なものを、次の1から5までの中から1つずつ選んで、その番号を書きなさい。

⑩

- 1 たくさんの情報を手に入れるために、長時間インターネットを使う。
- 2 自分にとって必要のない情報でも、全部手に入れるようにする。
- 3 インターネット上に個人の情報や秘密を、勝手に流さないようにする。
- 4 手に入れた情報が、本当に正しいかどうかをよく確かめる。
- 5 大勢の人に読んでもらえるように、事実とちがう情報を大げさに伝える。

(2) (正答)

<A> 3 4 【完答】

市 89.2 県 89.1

差 +0.1 自校()

5

よしおさんは、飛鳥時代から平安時代に活やくした人物に関するできごとについて、カードにまとめて、復習をしています。あとの問いに答えなさい。

【カードA】 ア

- 天皇を中心とする国づくりを目指して、政治を行った。
- 十七条の憲法や冠位十二階などを定めたといわれている。



【カードB】 聖武天皇

- 天皇を中心とする政治のしくみを確立した。
- 東大寺の大仏をつくることや、全国に国分寺をつくることを命じた。



【カードC】 藤原道長

- 朝廷の実権をにぎった。
- 大きな権力をもち、「この世の中は、すべてが自分の思い通りになっている。」という意味の歌をよんだ。



(1) (正答) 聖徳太子
市 92.4 県 93.3
差 -0.9 自校()

(1) 【カードA】中の **ア** にあてはまる人物名を書きなさい。

(2) よしおさんは、【カードA】の人物が活やくしたところから【カードC】の人物が活やくしたところまでのできごとを、次の年表にまとめました。年表中の **□** にあてはまる都の名前を書きなさい。 ⑫

年	できごと
607	遣隋使 <small>けんずいし</small> が送られる
645	大化の改新 <small>たいかかいしん</small> が始まる
710	都が □ に移る
724	聖武天皇 <small>そくい</small> が即位する
737	都で伝せん病が流行する このころ各地で災害が起こる
740	貴族の反乱が起こる
741	国分寺をつくる命令が出される
743	大仏をつくる命令が出される
794	都が平安京 <small>へいあんきやう</small> に移る
894	遣唐使 <small>けんとうし</small> が停止される
1016	藤原道長が政治の実権をにぎる

(2) (正答)平城京
市 29.8 県 36.4
差 -6.6 自校()

(3) よしおさんは、【カードB】の聖武天皇が行った政治や当時の様子について、次のように発表しました。【カードB】や年表をもとに、よしおさんの発表の **□** にあてはまる内容を、「～ので、…」という形で書きなさい。 ⑬

【よしおさんの発表】

聖武天皇が大仏や国分寺をつくった理由は、 **□** と考えていたからです。

(3) (正答)伝染びょうが流行したり、災害や戦乱がおこったりしていたので、
仏教の力で国をおさめよう 市 37.8 県 39.1 差 -1.3 自校()

(4) 次の歌は、【カードC】の藤原道長がよんだものです。歌に表現された当時の様子として正しいものを、あとの1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。 ⑭

「この世をば わが世とぞ思うもち月の かけたることも なしと思えば」

(4) (正答) 4

市 72.0
県 71.4
差 +0.6
自校()

- 1 中国ちゆうごくから鑑真がんじんが日本に招かれて、仏教の制度が整えられた。
- 2 武家諸法度ぶけしよはつとというきまりが定められて、全国だいにしやうの大名が厳しく取りしまられた。
- 3 ご恩おんと奉公ほうこうという、将軍しやうぐんと御家人ごけにんの強い結びつきが生まれた。
- 4 貴族がむすめを天皇のきさきとして、生まれた子どもを天皇にした。

6

室町時代の文化について、次の問いに答えなさい。

- (1) 室町時代の文化について学習しているよしかずさんとさくらさんは、次の1から4の資料を集めました。その中に、室町時代に完成したものではない資料がありました。その資料を1つ選んで、番号を書きなさい。

15

<p>1 <small>きんかく</small> 金閣</p> <p>(金閣の写真)</p>	<p>2 <small>すいぼくが</small> 水墨画</p> <p>(水墨画の写真)</p>
<p>3 <small>のう</small> 能</p> <p>(能の写真)</p>	<p>4 <small>うきよえ</small> 浮世絵</p> <p>(浮世絵の写真)</p>

(1) (正答) 4
市 48.1 県 49.2
差 -1.1 自校()

- (2) よしかずさんとさくらさんは、次の2つの資料をもとに、室町時代の文化の特色についてまとめています。あとの問いに答えなさい。

<p>【資料A】 室町時代にかかれた床<small>とこ</small>の間の絵</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; margin: 10px 0; text-align: center; line-height: 150px;"> <p>(床の間の絵の写真)</p> </div>	<p>【資料B】 銀閣<small>ぎんかく</small>のとなりにある建物<small>とうぐどう</small>(東求堂)の部屋<small>へや</small></p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; margin: 10px 0; text-align: center; line-height: 150px;"> <p>(東求堂の部屋の写真)</p> </div>
---	--

【資料A】は室町時代にかかれた絵だね。この絵にかかれていますようなかけじくと生け花は、おばあさんの家でも見たことがあるよ。



【資料B】の部屋の建築様式は室町時代に発達したもので、アとよばれているね。この部屋にあるイは、現代の暮らしでも、和室の中に受けつがれているね。

新しい建築様式が発達したこと以外にも、室町時代には、現代の暮らしにつながるようなさまざまな変化があったよね。



- ① 会話文中のアにあてはまる建築様式を書きなさい。また、【資料B】をもとにしてイにあてはまる言葉を1つ書きなさい。

16

- ② 会話文中の下線部ウの具体例としてあてはまる内容を、次の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

17

- 1 1日に3回食事をする習慣が広まり始めた。
- 2 「源氏物語げんじものがたり」など、かな文字を用いた文学作品がつくられた。
- 3 歌舞伎かぶきなどを見て、人々が楽しむようになった。
- 4 渡来人とらいじんたちにより、土木技術や焼き物などの技術が広められた。

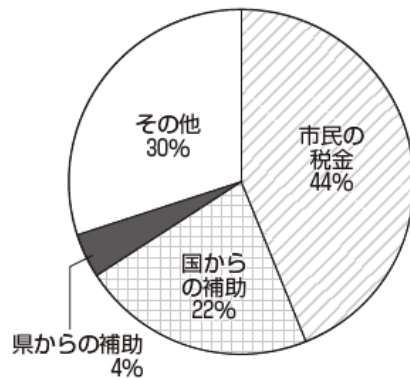
① (正答) <ア>書院造
<イ>たたみ 【完答】
市 44.7 県 38.4 差 +6.3
自校()

② (正答) 1
市 33.1 県 38.2
差 -5.2 自校()

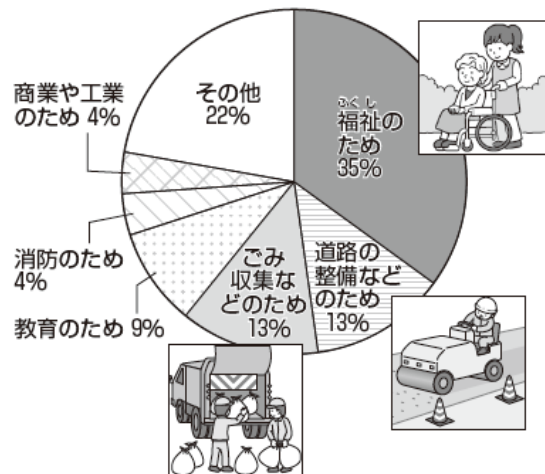
7

はるなさんのクラスでは、わたしたちの生活と政治の働きについて調べるために、A市役所の人に、次の2つの資料をもとにインタビューをしました。あとの【インタビューの様子】を読んで、次のページの問いに答えなさい。

【資料ア】 A市の収入(2015年)



【資料イ】 A市の支出(2015年)



【インタビューの様子】

はるな 「A市の収入について教えてください。」

市役所の人 「市民のみなさんから納められた税金は、1年間で約1100億円です。そのほかに、【資料ア】からわかるように、国や県から補助を受けることもあります。」

はるな 「わたしの家族も、収入を得たら税金を納めなければならないといっていました。」

ゆうま 「ぼくたちは働いていませんが、⑥店で買い物をしたときに税金を納めています。」

市役所の人 「そうですね。税金は、【資料イ】のように市民のためになるように考えて使っています。」

ゆうま 「④A市の税金の使いみちは、だれが決めているのですか。」

市役所の人 「税金の使いみちは、 ⑤ 決定しています。」

ゆうま 「【資料イ】を見ると、A市の支出では、福祉のための支出が全体の約3分の1をしめていて、一番多いですね。」

はるな 「これからA市の支出はどうなっていくのでしょうか。」

- (1) 【インタビューの様子】中の下線部⑥について、買い物をしたときに納める税金の名前を書きなさい。

(1)(正答) 消費税 市 80.8 県 73.2 差 +7.7 自校()

- (2) 【インタビューの様子】中の下線部⑦の質問の答えとして、
に最もあてはまる内容を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

(2)(正答) 2

市 32.1

県 33.7

差 -1.6

自校()

- 1 国会議員が、計画書や予算案などをもとに議会で話し合っ
- 2 市議会の議員が、計画書や予算案などをもとに議会で話し合っ
- 3 選挙で選ばれた市長が、計画書や予算案などをもとに弁護士に相談して
- 4 市役所や税務署の職員が、計画書や予算案などをもとに話し合っ

- (3) はるなさんは、インタビューのときに、A市役所の人に次の【資料ウ】をもらいました。

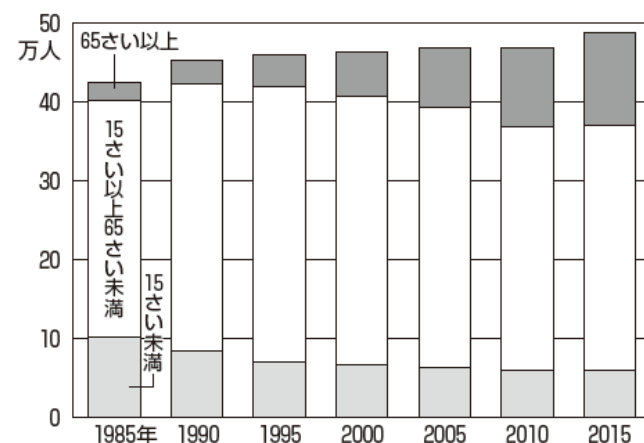
(3)(正答)(例) 65 歳以上の
の高れい者が今後も増
えると考えられるので、
医療費などが増えるの
ではないか

市 10.4 県 9.6

差 +0.7

自校()

【資料ウ】 A市の年れい区分別人口の移り変わり



- はるなさんは、これからのA市の支出について、次のように予想を発表しました。
【資料イ】と【資料ウ】を使って、はるなさんの発表の
に最もあてはまる内容を、「～ので、…」という形で書きなさい。



はるな

今後、A市の「福祉のため」の支出は増えていくと思います。
理由は、資料から、
と考えたためです。